農業の新しい技術

No. 685(平成27年5月) 分類コード 08-13 熊本県農林水産部

イネ WCS 等を含む発酵飼料はトウモロコシ サイレージの代替として乳牛に給与可能である

> 農業研究センター 畜産研究所大家畜研究室 担当者:三角亮太

研究のねらい

熊本県では乳用牛1頭当たりの飼料作付面積は減少傾向となっている。さらに1戸当たり飼養頭数の増加、栽培面積および労力の不足によって、トウモロコシサイレージ等の自給飼料を通年で給与できる農家が減少しており、不足時には輸入粗飼料に頼らざるを得ない状況である。そのような中、民間の TMR センターにおいて、トウモロコシサイレージの代替として、イネ WCS やミカンジュース粕などを原料とした発酵飼料が製造されている。そこで本研究では、この発酵飼料の給与による搾乳牛への影響について明らかにする。

研究の成果

- 1. 発酵飼料の給与例は図1のとおりである。
- 2. 泌乳中期牛に、トウモロコシサイレージの代替としてイネ WCS やミカンジュース粕などを原料とする発酵飼料を給与しても(表1)、乾物摂取量、乳量および乳成分(乳脂率、無脂固形分率、乳蛋白質率、乳糖率、乳中尿素態窒素)に影響は見られない。(表2)
- 3. 血液性状およびルーメン液 pH においても、発酵飼料給与による影響は見られない。 (表3)

以上のことから、イネ WCS やミカンジュース粕などを原料とする発酵飼料の給与は、乳生産性等へ影響を与えることはなく、トウモロコシサイレージ不足時の代替として乳牛に給与可能である。

普及上の留意点

- 1. 実際の給与に当たっては、飼料の正確な分析値による飼料計算に基づき、給与飼料の 成分調整を行う必要がある。
- 2. 飼料の切り替える時は、馴致を行う。

[具体的データ] 熊本県農林水産部

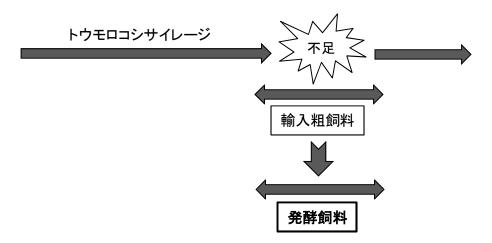


図1 発酵飼料の給与例 ※飼料を切り替える時は、馴致を行う。

表1	会∃	业:	組	-1;
বছ ৷		 小十	πн	IJХ.

(DM%) 表2 乾物排

X 1 X 1 1 1 1 1 1 2 1 2 X		(DIII / 0 /
	試験区	対照区
発酵飼料 ¹⁾	29.3	_
トウモロコシサイレージ	-	23.4
配合飼料	42.0	42.0
オーツ乾草	11.6	14. 7
ルーサン乾草	11.6	11.7
ビートパルプ	5. 1	7.8
重曹	0.4	0.4
TDN(可消化養分総量)	72.5	72. 1
CP(粗タンパク質)	15. 1	15. 1
NDF(中性デタージェント繊維)	33.7	34. 4
NFC(非繊維性炭水化物)	43.5	42. 9

1) ミカンジュース粕、イネWCSを中心に、穀類として 圧ぺんトウモロコシ、粗飼料としてオーツ乾草を使用。 (熊本県酪農業協同組合連合会取扱いの「くまエコサイレージ」)

表2 乾物摂取量および泌乳成績

測定項	試験区	対照区				
乾物摂取量	(kg/日)	26.8	25.0			
乳量	(kg/日)	31.4	29.6			
乳脂率	(%)	4. 29	4. 39			
無脂固形分率	(%)	8.98	8. 91			
乳蛋白質率	(%)	3.62	3.59			
乳糖率	(%)	4. 33	4. 31			
乳中尿素態窒素	(mg/dL)	11.46	12.64			

泌乳中期牛(平均分娩後日数110日、平均体重651kg) 6 頭を用いて、発酵飼料を給与する試験区とトウモロコシ サイレージを給与する対照区を設定し、1期21日間とす るクロスオーバー法により飼養試験を行った。 試験期間:平成25年12月5日~平成26年1月15日

表3 血液性状およびルーメン液pH

測定項目	試験区	対照区	
グルコース(Glu)	(mg/dI)	60.3	57. 3
総コレステロール(T-Cho)	(mg/dI)	164. 2	160.8
グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミラーゼ(GOT)	(IU/L)	58.3	55. 7
総タンパク(T-Pro)	(g/dI)	7. 2	7. 2
カルシウム(Ca)	(mg/dI)	7.6	7. 4
アルブミン(Alb)	(g/dI)	2.9	2. 9
血中尿素態窒素(BUN)	(mg/dI)	9.3	9. 3
ルーメン液 p H		6.74	6. 78